



J613-M0220-02 Rev.C 060927



最初にお読みください

CentreCOM **GS908M/916M/924M** リリースノート

この度は、CentreCOM GS908M/916M/924Mをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。
このリリースノートは、取扱説明書（J613-M0220-00 Rev.A）とコマンドリファレンス（J613-M0220-03 Rev.C）の補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 1.3.0

2 本バージョンで追加された機能

ファームウェアバージョン 1.2.0 から 1.3.0 へのバージョンアップにおいて、以下の機能が追加されました。

2.1 ウォッチドッグ機能のサポート

故障個所の検出や問題発生を定期的に監視するウォッチドッグ機能を実装しました。

2.2 ブリッジ MIB の対応

 **参照**「取扱説明書」108 ページ

ブリッジ MIB (RFC1493 (dot1dStp グループ、newRoot および topologyChange トラップ)) に対応しました。

2.3 Telnet クライアント機能のサポート

 **参照**「コマンドリファレンス」/「運用・管理」/「ターミナルサービス」

Telnet クライアントとして他の機器に Telnet 接続が可能になりました。

2.4 アクセスフィルター機能のサポート

 **参照**「コマンドリファレンス」/「運用・管理」/「アクセスフィルター」

本製品宛てのパケットを受信すると、受信パケットに関連付けられたフィルターを参照し、受信を許可するか、拒否するか決定するアクセスフィルター機能に対応しました。

2.5 DHCP クライアント機能のサポート

 **参照**「コマンドリファレンス」/「IP」

ネットワーク上の DHCP サーバーを利用して、VLAN インターフェースの IP アドレスを自動

設定できる DHCP クライアント機能を実装しました。

2.6 QoS (Strict と Diffserv)

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「QoS」](#)

送信キューの処理方法を重み付けラウンドロビン (Weighted round robin priority) と絶対優先 (Strict priority) のどちらで行うか選択できるようになりました。
ネットワーク境界 (エッジ) で流入トラフィックをクラス分け・マーキングし、ネットワーク内部ではマーカーだけを見て QoS を適用する DiffServ に対応しました。

2.7 ポート認証 (802.1X 認証)

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「802.1X 認証」](#)

スイッチポート単位で LAN 上のユーザーや機器を認証するポート認証 (802.1X 認証) 機能に対応しました。

2.8 パケットストームプロテクション

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「スイッチング」](#)

ブロードキャスト / マルチキャスト / 未学習のユニキャストフレームの受信レートに上限を設定し、パケットストームを防止するパケットストームプロテクション機能を追加しました。

2.9 IGMP Snooping

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「IGMP Snooping」](#)

バーチャル LAN 環境において、不要なマルチキャストトラフィックをフィルタリングする IGMP Snooping に対応しました。

2.10 スパニングツリープロトコル

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「スパニングツリープロトコル」](#)

スイッチネットワークにおいて、冗長経路 (複数経路) の設定を可能とし、ネットワークの耐障害性を高めるスパニングツリープロトコルに対応しました。

2.11 WebGUI

 [「コマンドリファレンス」](#) / [「WebGUI」](#)

Web ブラウザーを利用したグラフィカル・ユーザー・インターフェース (GUI) をサポートしました。Web ブラウザーから本製品にアクセスして、設定の変更や参照を行うことが可能です。

3 本バージョンで修正された項目

ファームウェアバージョン 1.2.0 から 1.3.0 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 UDP ポートの 161 番がオープンしていましたが、これを修正しました。
- 3.2 スイッチポートを default VLAN から削除し、受信可能なフレームタイプを変更すると、SHOW CONFIG コマンドを DINAMIC パラメーター付きで実行したとき確認できないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.3 メモリー容量いっぱいまでファイルを作成したとき、SET CONFIG コマンドを実行するとエラーメッセージが表示されましたが、これを修正しました。
- 3.4 約 5800 文字以上改行されていない連続した文字列を持つファイルをダウンロードし、SHOW FILE コマンドでファイルの内容を参照するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.5 フラッシュメモリーの空き容量より大きいサイズのファイルをコピーすると、残りの容量分だけコピーされたファイルが作成されましたが、これを修正しました。
- 3.6 フラッシュメモリーの空き容量より大きいサイズのファイルをダウンロードしようとする、その後のダウンロードが正しく行われないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.7 テキスト形式以外のファイルをコンフィグとして読み込むと、システムが正常に起動せずログインできないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.8 最大数 (3000 件) までログが保存されている状態で ADD IP IPADDRESS コマンドを実行するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.9 システム起動直後に本製品に Telnet ログインレログを表示すると、Switch startup のログより先に Telnet connection のログが出力されることがありましたが、これを修正しました。
- 3.10 Telnet 経由でセッションが確立したときに login Trap が送信され、ログインしたときには送信されませんでした。これを修正しました。
- 3.11 トラップパケットの TimeStamp と SNMP マネージャーで受信したトラップメッセージのタイムスタンプが一致しないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.12 複数の VLAN に同一のスタティックエントリーを追加すると SNMP マネージャーによる dot1dStaticEntry の取得ができず、新たなスタティックエントリーを追加するとコンソールポートからキー入力ができなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 3.13 1 つの SNMP コミュニティーに対して、SNMP 管理ホスト (MANAGER)、SNMP トラップ送信先ホスト (TRAPHOST) を最大数 (4 つ) 登録すると、COLDSTART トラップが 3 つしか送信されないことがありましたが、これを修正しました。

- 3.14 SHOW INTERFACE コマンドで表示される ifOutNUcastPkts のカウンター値と SNMP マネージャーで確認できる ifOutNUcastPkts のカウンター値が一致しないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.15 SNMPv3 は未サポートであるにもかかわらず、SNMPv3 マネージャーから SNMP Get Request を受信すると AUTHENTICATION トラップを送信してしまいましたが、これを修正しました。
- 3.16 SNTP パケットの Trasmit TimeStamp が 0 のまま送信されていましたが、これを修正しました。
- 3.17 NTP 設定後、SHOW CONFIG コマンドを実行するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.18 コンソールポート経由で Telnet 接続すると表示が正しく行われなかったことがありましたが、これを修正しました。
- 3.19 Telnet 接続時、ログインプロンプトが表示されてから 1 分以内にログインしなくてもタイムアウトにならないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.20 Telnet ログイン時、SHOW SYSTEM コマンドを実行中に Telnet クライアントを終了するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.21 TCP RST パケットを受信後、Telnet による再接続が行えないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.22 Telnet 接続した機器に対して PING コマンドを実行中に、Telnet クライアントを終了するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.23 規格外の改行コードを送信する機器から本製品に対して Telnet 接続を行えないことがありましたが、これに対応しました。
- 3.24 SET TELNET コマンドの LISTENPORT パラメーターに未サポートのポート番号を指定してもエラーにならないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.25 ダイナミックエントリーが最大件数登録された状態でスタティックエントリーを登録すると、コンフィギュレーションファイルには登録されませんが、SHOW SWITCH FDB コマンドで確認できないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.26 サブネットマスクを変更し、元に戻すと他ネットワーク宛での通信ができなくなることがありましたが、これを修正しました。
- 3.27 DELETE VLAN PORT コマンドで PORT パラメーターに ALL を指定するとエラーメッセージが表示されることがありましたが、これを修正しました。
- 3.28 SET QOS HWQUEUE コマンドにより送信キューの重み付けの比率を変更すると再起動後にパラメーターエラーになることがありましたが、これを修正しました。

- 3.29 オートネゴシエーションに失敗したとき、スイッチポートがリンクアップしていても LINK LED が点灯しないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.30 SET SWITCH PORT コマンドの TAB キーによる入力候補の補完が正しく機能しないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.31 ミラーポートに設定したポートのフォワーディングデータベース (FDB) の内容を表示すると、VLAN の項目に「0 (VLAN ID=0)」と表示されていましたが、これを修正しました。
- 3.32 コンポートにおいて 1000BASE-T ポートを優先に設定していないにもかかわらず 1000BASE-T ポートで通信が行われることがありましたが、これを修正しました。
- 3.33 GS916M、GS924M においてコンポートでポートランキングを設定したときエラーメッセージが表示されることがありましたが、これを修正しました。
- 3.34 トランクグループ所属ポートの VLAN 設定を、ポートごとにタグ付きからタグなしに変更してもエラーになりませんでした。これを修正しました。
- 3.35 すべてのポートをセキュリティーモードに設定すると再起動した時に時間がかかることがありましたが、これを修正しました。
- 3.36 ミラーリングのミラーポートにスタティックエントリが登録できることがありましたが、これを修正しました。
- 3.37 SET SWITCH PORT コマンドで PORT パラメーターに ALL を指定し通信速度を変更するとリポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.38 対向機器から本製品に Telnet 接続したとき、ログインプロンプトのあとに「！」が表示されることがありましたが、これを修正しました。
- 3.39 SHOW SWITCH FDB コマンドの STATUS パラメーター、VLAN パラメーターに値を指定しなくてもエラーメッセージが表示されませんでした。これを修正しました。
- 3.40 受信可能なフレームタイプの異なるポートでトランクグループを作成してもエラーメッセージが表示されませんでした。これを修正しました。
- 3.41 コンポートを通信速度 1000M 以外 (10M または 100M) でトランクグループに追加することができていましたが、これを修正しました。
- 3.42 フォワーディングデータベースのエントリが MAC アドレスでソートされた順に表示されませんでした。これを修正しました。
- 3.43 コンポートで使用するポートを切り替えたとき、まれにポートがリンクアップしていないにもかかわらず「link-up」メッセージが表示されることがありましたが、これを修正しました。
- 3.44 1519 Byte 以上のパケットを受信したとき、正常なフレームにもかかわらず、Errors カ

ウンターがカウントされることがありましたが、これを修正しました。

- 3.45 トランクポートでフローコントロールを無効に設定できないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.46 高負荷で長時間の通信を行うとレポートすることがありましたが、これを修正しました。
- 3.47 存在しない VID を持つパケットを受信したとき、そのポートをセキュリティーモードに設定すると FDB にスタティック登録してしまっていたことがありましたが、これを修正しました。
- 3.48 マルチプル VLAN モード時、SHOW SWITCH PORT コマンドで SUMMARY オプションを指定すると Port-based VLAN と表示されることがありましたが、これを修正しました。
- 3.49 SET VLAN MODE コマンドで VLAN モードを指定するとき、VLAN モードの省略形が使用できないことがありましたが、これを修正しました。
- 3.50 タグ VLAN のみに所属しているポートの受信可能なフレームタイプを変更できてしまっていたことがありましたが、これを修正しました。

4 本バージョンでの制限事項

ファームウェアバージョン 1.3.0 には、以下の制限事項があります。

4.1 SNMP

「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「SNMP」

- SNMP マネージャーから、スパニングツリーレポートの有効 / 無効を設定できません。
- MIB-II の以下のオブジェクトが正しくカウントアップされません。
snmp グループ
snmplnBadCommunityNames、snmplnBadCommunityUses、snmpOutNoSuchNames、
snmpOutBadValues、snmpOutGenErrs
dot3 グループ
dot3StatsExcessiveCollisions、dot3StatsSymbolErrors

4.2 ターミナルサービス

「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「ターミナルサービス」

- Telnet ログイン時、SHOW LOG コマンドを実行すると、「Ctrl」 + 「C」を押しても中断できない場合があります。

4.3 IP

「コマンドリファレンス」 / 「IP」

- ICMP エコー要求 (Ping) パケットを受信した場合、応答に時間がかかることがあります。

- 本製品のコマンドラインから他の機器宛てに ICMP Echo メッセージ (Ping パケット) を送信すると Reply 番号がずれることがあります。

4.4 スイッチング

「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」

- スイッチポートの通信速度を AUTONEGOTIATE、10MHAUTO、10MFAUTO、100MHAUTO、100MFAUTO、10-100MAUTO に設定すると link-down、link-up メッセージが表示されないポートがあります。
- コンポートでトランクグループを作成し、GUI からポートと通信速度の変更をすると「通信速度が正しくありません。」というエラーメッセージが表示されます。
- SHOW SWITCH PORT COUNTER コマンドで表示される FCSErrors カウンターと、ExcessiveCollisions カウンターが正しくカウントされません。

4.5 バーチャル LAN

「コマンドリファレンス」 / 「バーチャル LAN」

- タグ VLAN のみに所属しているポートではタグなし BPDU パケットを受信することができません。
- イングレスフィルタリングを有効にした場合でも GUI からは VLAN モードをマルチプル VLAN モードに変更できてしまいます。

4.6 IGMP Snooping

「コマンドリファレンス」 / 「IGMP Snooping」

- Group-specific Membership Query メッセージが同一 VLAN 内にフラッディングされません。

4.7 802.1X 認証

「コマンドリファレンス」 / 「802.1X 認証」

- SET PORTAUTH PORT コマンドの SERVERTIMEOUT パラメーターに 31 (秒) 以上の値を指定すると、60 (秒) を指定したときと同じ動作になります (60 秒でタイムアウトが発生します)。

4.8 WebGUI

「コマンドリファレンス」 / 「WebGUI」

- GUI の IP 設定で「インターフェース (VLAN)」の欄になにも入力せず「設定」ボタンを押すと IP アドレスが 802.1Q タグ VLAN モードのときは default VLAN、マルチプル VLAN モードのときは UV1 に割り当てられるため、その他のインターフェースからログインしている場合、GUI が使用できなくなります。

5 取扱説明書・コマンドリファレンスの補足

製品に同梱の取扱説明書、および CD-ROM に収録されている「CentreCOM GS900M シリーズ コマンドリファレンス 1.3.0 (Rev.C)」の補足事項です。

5.1 FTP

「コマンドリファレンス」/「運用・管理」/「アップロード・ダウンロード」

FTP での同時確立可能なセッション数は 1 セッションのみです。

5.2 TFTP を利用したファイルのダウンロード

「コマンドリファレンス」/「運用・管理」/「アップロード・ダウンロード」

ファイルをダウンロードするとき、同一ファイル名がすでに存在していた場合は上書きされます。

5.3 ミラーリング

「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」

タグ付き設定のソースポートでタグ付きパケットを受信すると、タグなしでミラーポートから出力されます。

5.4 タグ VLAN

「コマンドリファレンス」 / 「バーチャル LAN」

タグ VLAN にしか所属していないポート（受信可能なフレームタイプが、VLAN タグ付きフレームのみのポート）で他の VLAN に所属していないポートを VLAN から削除する場合は、該当ポートのタグ設定をタグなしに変更してから削除してください。

5.5 IGMP Snooping

「コマンドリファレンス」 / 「IGMP Snooping」

Leave メッセージを受信したあとも Group Address、VLAN 名は SET IGMP Snooping TIMEOUT コマンドで設定した時間まで削除されません。TIMEOUT=0 設定時は Leave メッセージ受信後、約 60 秒で削除されます。

5.6 WebGUI からの IGMP Snooping 設定

「コマンドリファレンス」 / 「WebGUI」 / 「スイッチ設定」

GUI から IGMP Snooping の設定変更を行った後、コマンドラインで設定変更を行っても GUI の IGMP Snooping のステータス表示の「再表示」ボタンを押すと、コマンドラインでの設定変更が取り消され、GUI での設定値が反映されてしまいます。

6 未サポートコマンド（機能）

以下のコマンド（機能）はサポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

SHOW DEBUG

7 コマンドリファレンスについて

最新のコマンドリファレンス「CentreCOM GS900M シリーズ コマンドリファレンス 1.3.0 (J613-M0220-03 Rev.C)」は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、上記のコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちのコマンドリファレンスが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

※パーツナンバー「J613-M0220-03 Rev.C」は、コマンドリファレンスの全ページ(左下)に入っています。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>